

Relational Design Blueprint

Step0: Source

- PlanA Link: <https://github.com/stellacodex/codex-collective-archive/blob/main/common-system/01-system/chronogram-system/chronogram-prompts/01-master/planA-master.md>

- PlanAplus Link: <https://raw.githubusercontent.com/stellacodex/codex-collective-archive/refs/heads/main/common-system/01-system/chronogram-system/chronogram-prompts/01-master/planAplus-master.md>

- Backup data: 1976.12.08 01:38 JST, Kushiro

Human Design 相性鑑定フレーム：ステップ1～4

Step 1：タイプ／オーラの関係性

確認項目：

- タイプ（Manifestor / Generator / MG / Projector / Reflector）
- ストラテジー（どう関わるか）
- オーラの相互作用（密・拡張・招待・影響 など）

相性分析の観点：

- 相手とのペース／距離感／主導権
 - ストラテジーの相互補完性
 - オーラの“混ざり方”が快か不快か
-

Step 2：プロフィール（人生の役割・対人傾向）

確認項目：

- 各人のプロフィール（例：6/2、5/1など）
- ライン同士の関係性（1ラインと3ラインの共鳴／4ラインと5ラインのギャップ など）

相性分析の観点：

- お互いのプロフィールの距離感
- 近づくタイミング／離れる必要性の見極め
- 一方が“投影”する傾向にあるかどうか

Step 3：定義・センター・チャネルの重なり

確認項目：

- 定義の種類（シングル／スプリットなど）
- 活性化されたセンターの種類と数
- チャネルの重なりや補完関係

相性分析の観点：

- 相手に何を“求める”ことになるか（オープンセンターの影響）
- チャネルによる“強調”と“役割の被り”
- 補完し合えるか／緊張しやすい関係か

Step 4：Variable・PHS（思考・身体・意思決定のクセ）

確認項目：


- 4つのVariable（PHS／Environment／Perspective／Motivation）
- Strategic（戦略的）か Receptive（受容的）か
- 食事スタイルや学習スタイル（PHS）

相性分析の観点：

- 考え方の方向性が同じか／真逆か
- 環境の好みが合うかどうか
- 行動の“動機”が共鳴しやすいか／ずれやすいか

最終的な観点：

- 「どちらかが主導する関係か／対等な協働関係か」
- 「長期的に成長し合えるか／一時的な交差か」
- 「関係を続けるにはどんな条件・距離感が必要か」

 このステップで見える関係性の“地図”をもとに、ビジネス／創造／プライベートなど、目的に応じた距離感を設計する。